

熊 地 区 防災のお知らせ

熊地区自主防災会
事務局

『明けておめでとうございます。』

コロナ禍の中、新しい年 令和4年を迎えました。

昔は「災害は忘れたころにやってくる」と言われましたが、

現代では「災害は忘れる間もなくやってくる」と言われる時代になりました。

いずれにしろ 南海トラフ巨大地震は必ず来ます。

トラフ型の地震だけでなく直下型の地震にも備えなければなりません。

中部地方は、活断層の集中地帯で、何度も内陸での地震を経験してきました。

1945年1月(昭和20年)に発生した三河地震は震度6強 2306人の犠牲者が出ました。

熊地区自主防災会は「隣り近所の住民で助け合おう」という精神に基づいて自主的な防災(減災)活動を行うことにより、地震その他の自然災害による被害を最小限にとどめるための取り組みをしています。

熊地区4200人、お一人 おひとり 全員が防災会の会員です。

① 大地震発生に備えて

・自分の命は自分で守るための備えを今一度見つめなおしてみましょう。

(家具の転倒防止、水、食料の確保など)

・避難所に行くか、テント泊、車中泊か家族で確認しましょう。



② 大地震が発生したら

・シェイクアウトで自分の命や大切な家族の命を守る。

・隣り近所での声掛け支援を、特に高齢者の方、障がいのある方

要支援の方たちに出来る範囲内での支援をしましょう。



『支え合い、助け合い、信じ合い...』

こんな熊地区にしたいですね!!

熊地区 自主防災会
会長 伊熊 勝彦